
施設紹介

特定医療法人あかね会土谷総合病院

中四国循環器撮影技術研究会
今田 直幸・石橋 徹



【施設概要】

土谷総合病院は広島市のほぼ中心、平和記念公園の南側に位置しています。平和記念公園には原爆ドームの他、緑豊かな公園の木々の合間にたくさんのモニュメントが配置されています。とりわけ原爆資料館としての平和記念館には、多くの修学旅行生や世界各国の要人が訪れています。そんな平和記念館の目の前に当院は建っています。

昭和12年に土谷剛治先生が外科土谷病院を開設され、昭和56年に特定医療法人を取得、現在の地に移設されました。ベッド数394床を有し、急性期医療を担う総合病院として診療を行なっています。平成16年11月から循環器内科、心臓血管外科、小児（循環器）科の外来を集約し、効率的で迅速、安全な診療を行なうために心臓血管センターとしてスタートしております。

医療法人あかね会は関連施設として他に病院施設・クリニック・研究所・介護関連施設等、32の医療福祉施設があり、予防医学・急性期医療・在宅医療福祉まで包括的医療に取り組んでいます (<http://www.tsuchiya-hp.jp/index.htm>)。

【放射線室概要】

診療放射線技師は診療技術部に属し、19名（男性13名、女性6名）、看護師22名（内視鏡検査室も含む）、放射線科医師1名、クラーク4名、トランスクリイバー2名が所属しています。放射線技師は総合病院以外に併設する健診施設、関連の透析センターでの業務も行ないます。また、現在循環器内科の医師は14名です。

総合病院における主な放射線機器は心臓血管撮影装置3台、腹部血管撮影装置1台、CT1台、MRI1台、一般撮影2台、X線透視装置1台、外科用イメージ2台、乳房撮影装置1台、ポータブル4台を有しています。

以下に循環器領域で使用する装置、関連設備を示します。

- カテ室 1) PHILIPS Allura Xper FD10/10
- カテ室 2) PHILIPS INTEGRIS H5000C
- カテ室 3) PHILIPS Allura Xper FD10/10
- カテ室 4) PHILIPS Allura Xper FD20
- CT室) GE 横河メディカル LightSpeed VCT
- MR室) PHILIPS社 Intera(Achiva) 1.5T
- ネットワーク関係) 動画ネットワーク 東芝メディカル CardioAgent
静止画ネットワーク 富士メディカル Synapse , FRIS
カテーテル検査予約システム 株式会社ネクシス
- その他) 心内心電図解析装置 BADR 社製
Electro-anatomical マッピングシステム (カルトシステム)
造影剤自動注入装置 (ACIST 3台)
ポリグラフ 日本光電 RMC-3000 4台



PHILIPS FD10/10



PHILIPS H-5000C



PHILIPS FD20

【検査概要（平成 18 年度）】

循環器内科	PCI	855 件
	CAG	2386 件
	アブレーション	186 件
	Pacer 埋め込み	79 件
心臓血管外科	CAG	134 件
小児科	心カテ	約 100 件（治療 25 件）
人工臓器科	シャント PTA	373 件
放射線科	腹部血管造影（治療）	61 件
	PPI(下肢)	101 件

【現状と今後】

現在はカテ室に一名ずつ技師を配置し、常時 4 名の技師がカテ業務に従事しています。専任者 1 名、他はローテーションしています。IVUS、Distal-Protection、ローターブレード、レーザー等次々と新しい診断装置やデバイスが登場し、技師の仕事内容も複雑化する一方です。臨床工学技士と協力しつつ、24 時間救急患者に対応するためには、当直者が日勤時間帯と同様の業務内容を行なう必要があります。しかし、他のモダリティの専任者などカテ業務を行なう機会の少ない技師には、やはり当直時間は不安を伴っているのが現状です。また、64 列 MSCT による冠動脈 CTA の要求も増えており、24 時間体制でこちらの検査に対応することも問題となってきています。専門性と generalist の両立は大変難しい問題だと感じていますが、救急病院としての役割を果たすためには、バランスよく、求められている技術を習得し、持続していく教育システムの構築が必要と考えております。

設備として、PACS 化による画像ネットワークの統合が重要ですが、当院は動画システムと静止画システムが独立しています。今後、カテ室内で冠動脈 CTA の画像を有効利用することが求められているので、早期に実現させる必要を感じています。

また、PCI による皮膚障害を避けるのは我々放射線技師の重要な使命です。リアルタイムな線量評価を行なうための研究も引き続きおこなっていきたいと考えています。

今後も、全国循環器撮影研究会の活動によって、up to date な情報を得ていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。